

# 通信制高校教育の 現状について

～令和の高校教育に求められているもの～

令和7年8月1日（金）

第12回大阪府認可私立通信制高校教育研修会  
大阪通信制高校グループ

Y M C A 学院高等学校 副校長 池田 博人



大阪私立中学校高等学校連合会  
大阪通信制高校グループ

# 1 大阪通信制高校グループとは

---

## 2 通信制高校の基本知識

---

## 3 数字で見る通信制高校

---

## 4 大阪の通信制高校の現状

---

## 5 今後の通信制高校教育

---

# 大阪通信制高校グループとは

1 2014年にグループ発足

2 通信制高校の正しい情報と実態を大阪府より情報発信

3 通信制教育の質の向上のための連携と情報交換



大阪通信制高校グループHP



「通信制ではできない。通信制では足りない」ではなく  
「通信制だからできる。通信制にしかできない」へ



大阪私立中学校高等学校連合会  
大阪通信制高校グループ

1 大阪通信制高校グループとは

---

2 通信制高校の基本知識

---

3 数字で見る通信制高校

---

4 大阪の通信制高校の現状

---

5 今後の通信制高校教育

---

# 通信制とは

- 通信制高校は全日制・定時制に並ぶ課程で、学習量の基準が異なる。
- 各教科・科目ごとにスクーリング（登校による面接指導）とレポート（添削指導）の回数が1単位ごとに決められている。
- 登校形態は週に1日登校、2日・3日登校、毎日登校など多様な形態がある。



「登校しなければならない」という最低学習量基準で考えられる学習形態であったが、近年は変化が生じている。

<学習指導要領で定める学習量の基準>

各教科・科目	面接指導時間 (単位時間)	添削指導 (回数・通数)
国語・地理歴史 公民・数学	1	3
理科	4	3
保健体育（体育）	5	1
保健体育（保健）	1	3
芸術・外国語	4	3
家庭・情報 専門教科科目	2～8	2～8

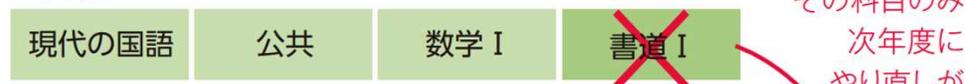


# 単位制とは

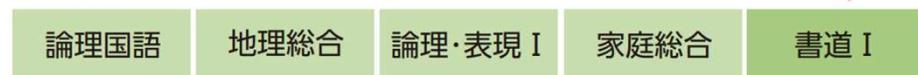
- 学年ではなく、単位を基準として学習量が決定される仕組み。
- 年間の履修可能単位数は学校により異なる。
- 単位を基準に考えるため、「留年」や「原級留置」がない。

## <単位制の仕組み>

### 1年次生



### 2年次生



単位制は、個人別に学習単位(履修単位)を決定するため、同じクラスであっても学習量が異なるケースもあり、仮に単位修得できないケースがあっても、次年度に再履修することができます。

## <単位制学習パターン>

年次	学習量パターン①	学習量パターン②	学習量パターン③
1年次生	14単位	25単位	10単位
2年次生	30単位	25単位	15単位
3年次生	30単位	24単位	20単位
4年次生			29単位
合計	74単位 (以上)	74単位 (以上)	74単位 (以上)

## <学年制の仕組み>



学年制の学校は学年ごとの学習量が単位数によって固定されています。同じクラスの生徒は同じ学習量となります。よって、規定の学習量の単位修得ができない場合は、進級できず留年(原級留置)という考え方になります。

単位制とは

# ビュッフェ



自分で勉強する科目を選びます。  
自分で勉強する量を決めるので、原級留置（留年）はありません。

学年制とは

# 定食

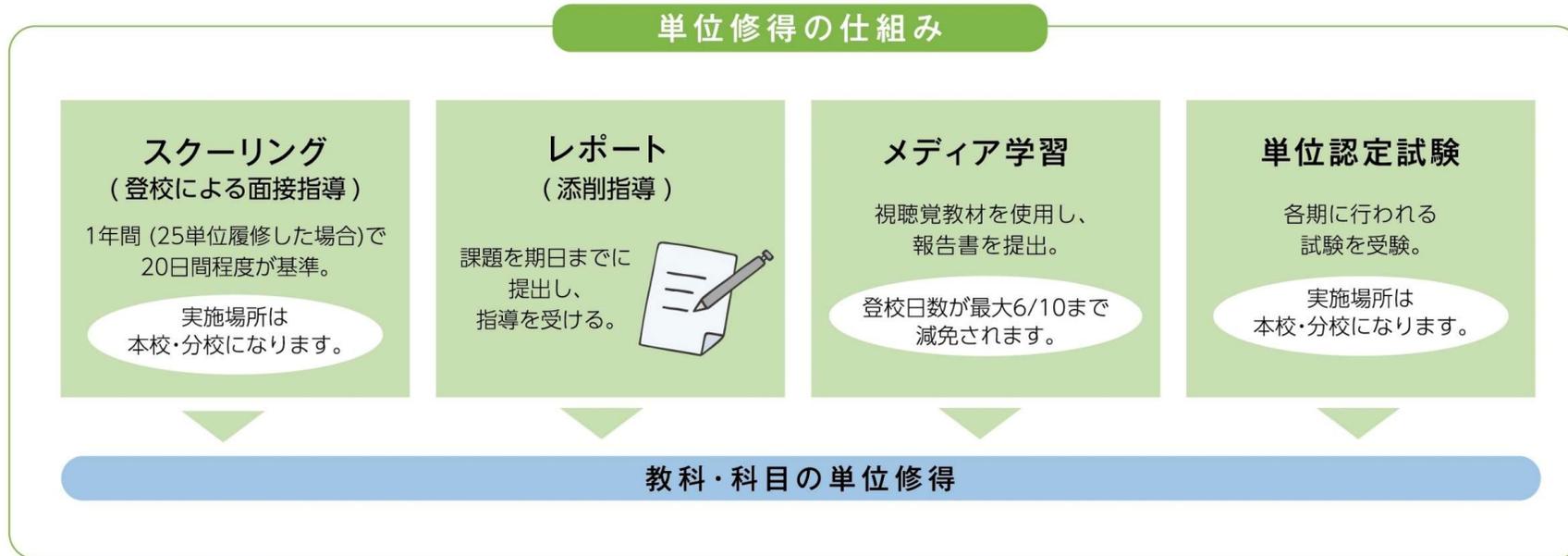


決められた科目を決められた順番に勉強します。  
残したものがあると次にすすめず原級留置となります。



大阪私立中学校高等学校連合会  
大阪通信制高校グループ

# 卒業要件・単位修得条件



# 通信制高校の登校日数の考え方（全日制比較）

## <全日制高校と通信制高校の登校日数の比較>

全日制高校

通信制高校



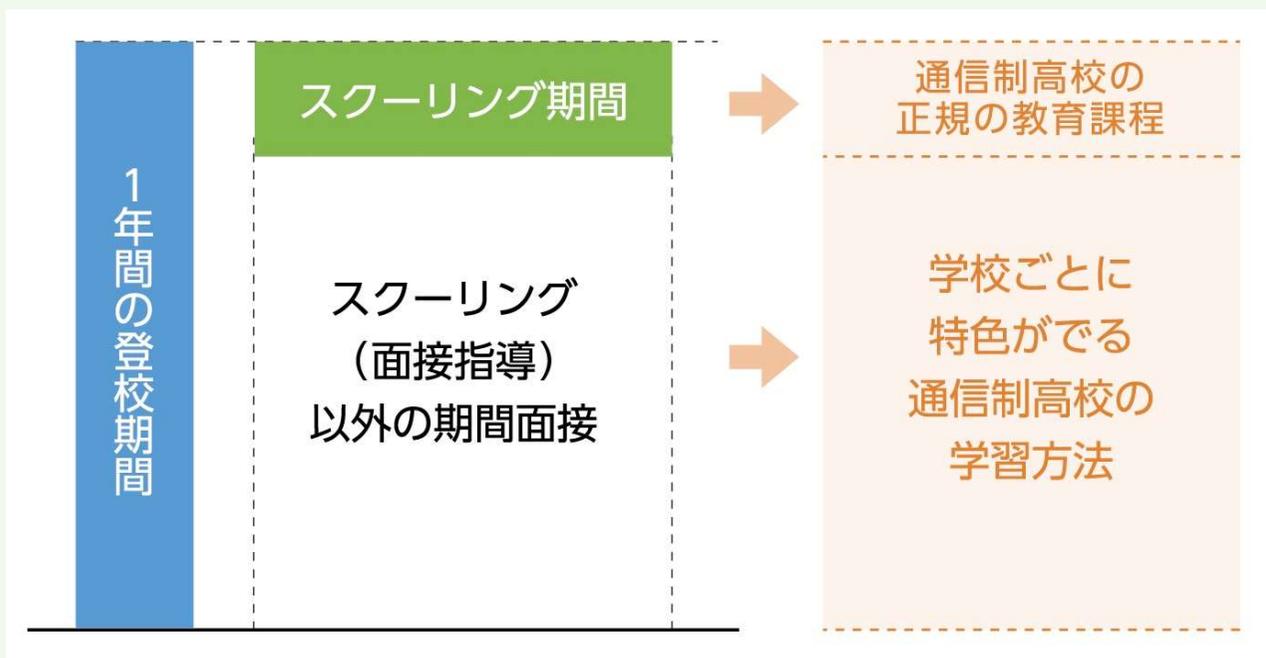
通信制での学び

通信制高校は登校日数ではなく出席時間数が基準



# — 変化する通信制高校の学びの形

1. 従来はスクーリング期間のみ登校するスタイルが主流
2. 登校機会増で特色ある教育内容を設定する学校が増加
3. 学校の特色が色濃く反映されるようになった。



## 通信制高等学校に在籍する生徒の実態等

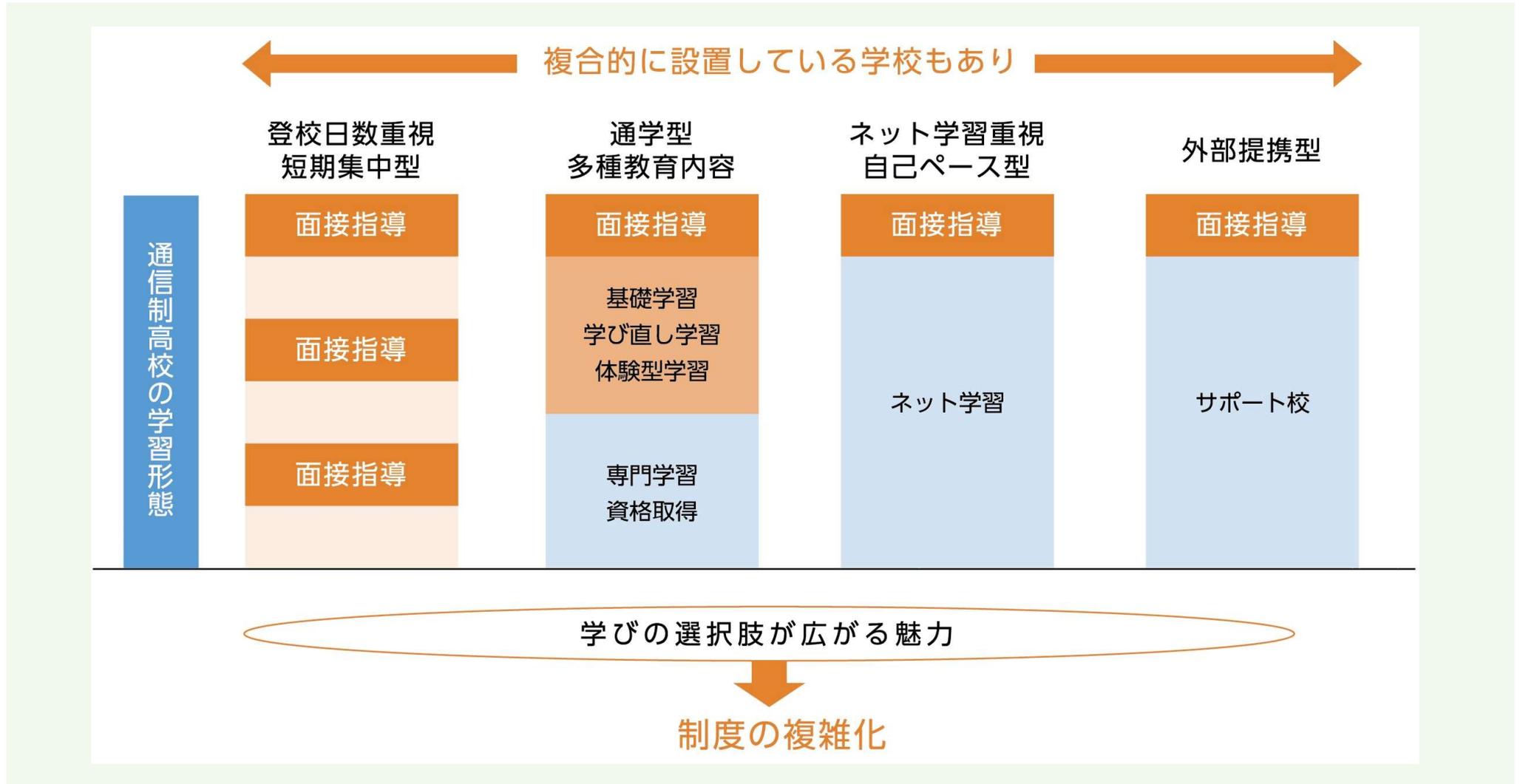
	狭域 通信制	広域 通信制 (※)
小・中学校及び前籍校における不登校経験がある生徒	65.6%	64.2%
外国とつながりがある（外国籍・日本語を母語としない）生徒	1.0%	0.6%
ひとり親家庭の生徒	28.2%	29.9%
特別な支援を必要とする生徒	7.9%	8.1%
非行経験（刑法犯罪等）を有する生徒	1.2%	0.6%
心療内科等に通院歴のある生徒	21.1%	21.4%

(※) 広域通信制とは3以上の都道府県において生徒募集を行うものを指す。

(出典) 「高等学校における教育の質確保への対応のための調査研究高等学校の現状に係る調査・分析に係る調査研究」報告書（令和5年度文部科学省委託事業）

“今の自分”に合った学び方を見つける場所

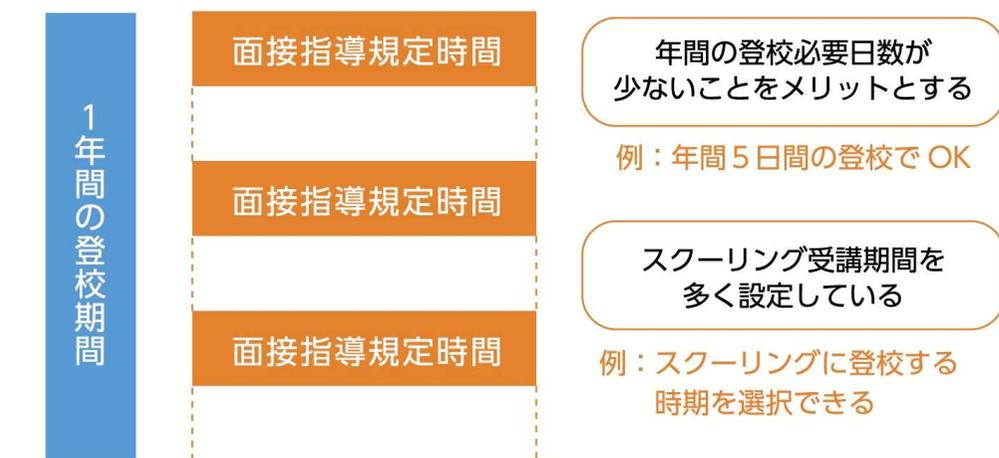
# 近年の通信制高校の学びの形



# 近年の通信制高校の学びの形

## 1 登校日数重視、短期集中型

スクーリング（面接指導）の開講時間や  
時間数で学習方法の特色を出す



## 2 通学型、多種教育内容

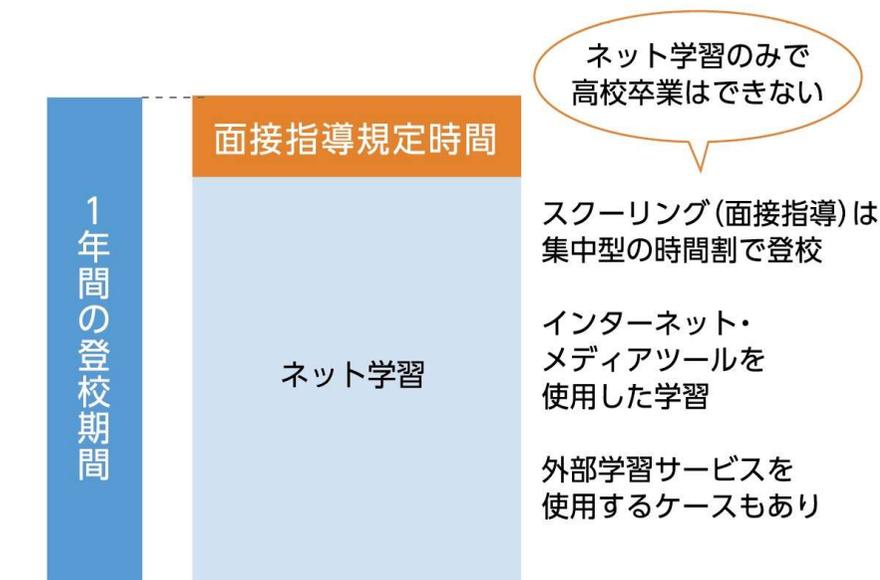
週に1日～5日の登校機会を設け  
正規の教育課程に加え、多様な学習を設定



# —近年の通信制高校の学びの形

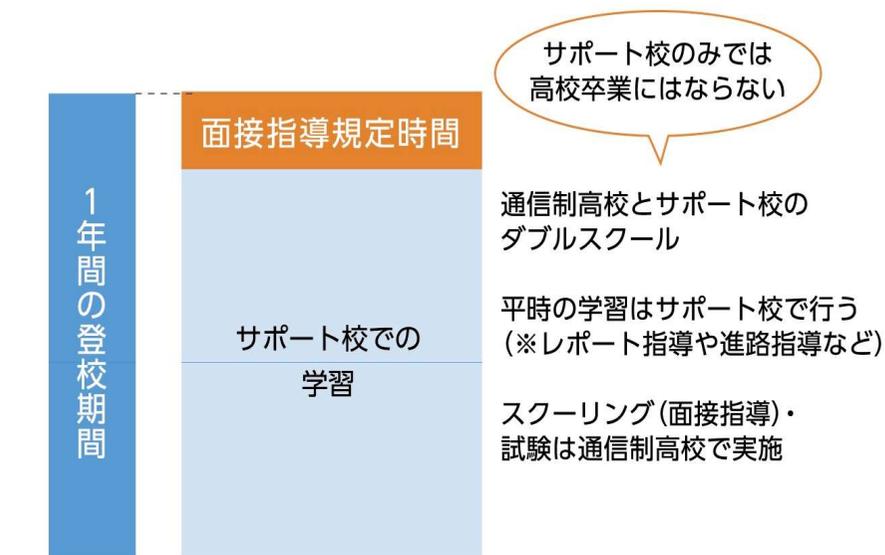
## 3 ネット学習重視、自己ペース型

インターネットを使用した学習形態を  
学習方法の特色とする



## 4 外部提携型

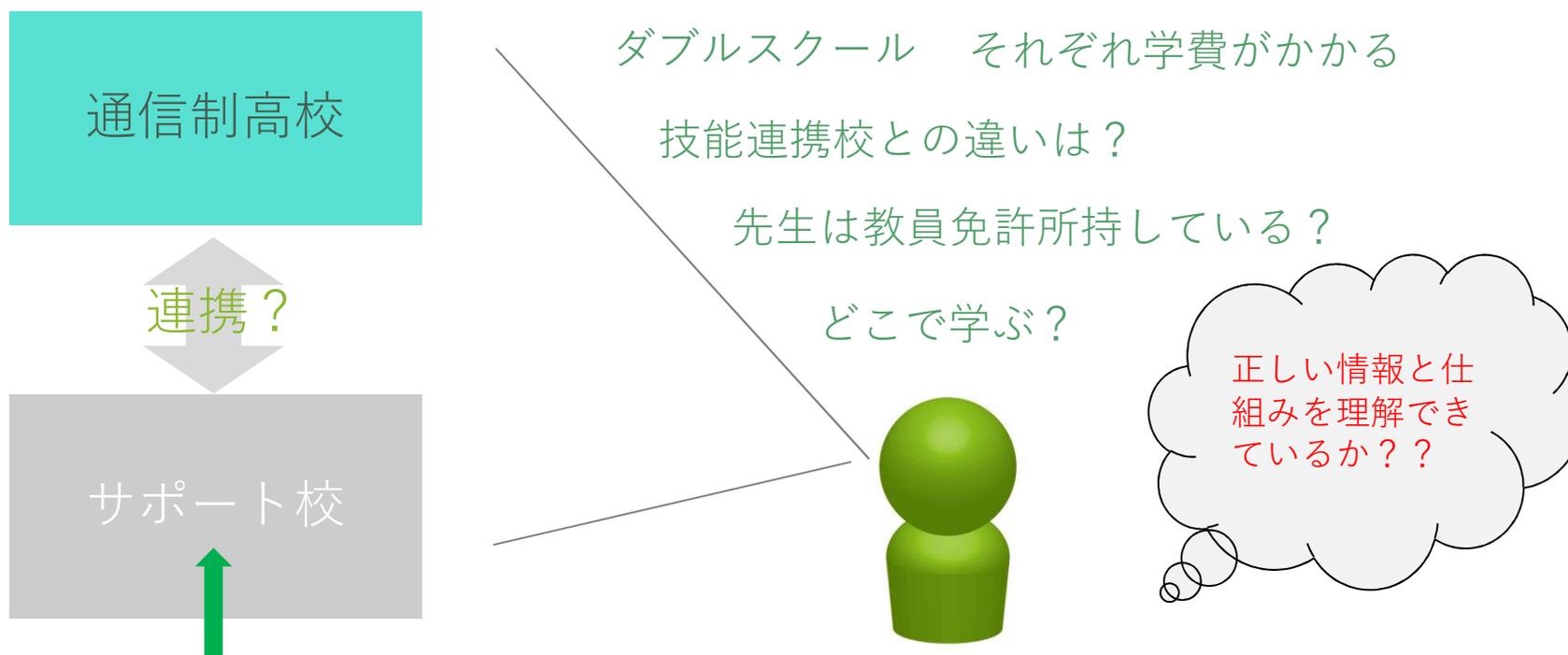
自校の教育施設だけではなく、  
外部の教育機関と提携している



# ——サポート校と連携する学校を選択する際に

サポート校とは、通信制高校とは別組織として運営されている民間施設  
で

在籍している通信制高校の学習を支援することを目的としています。

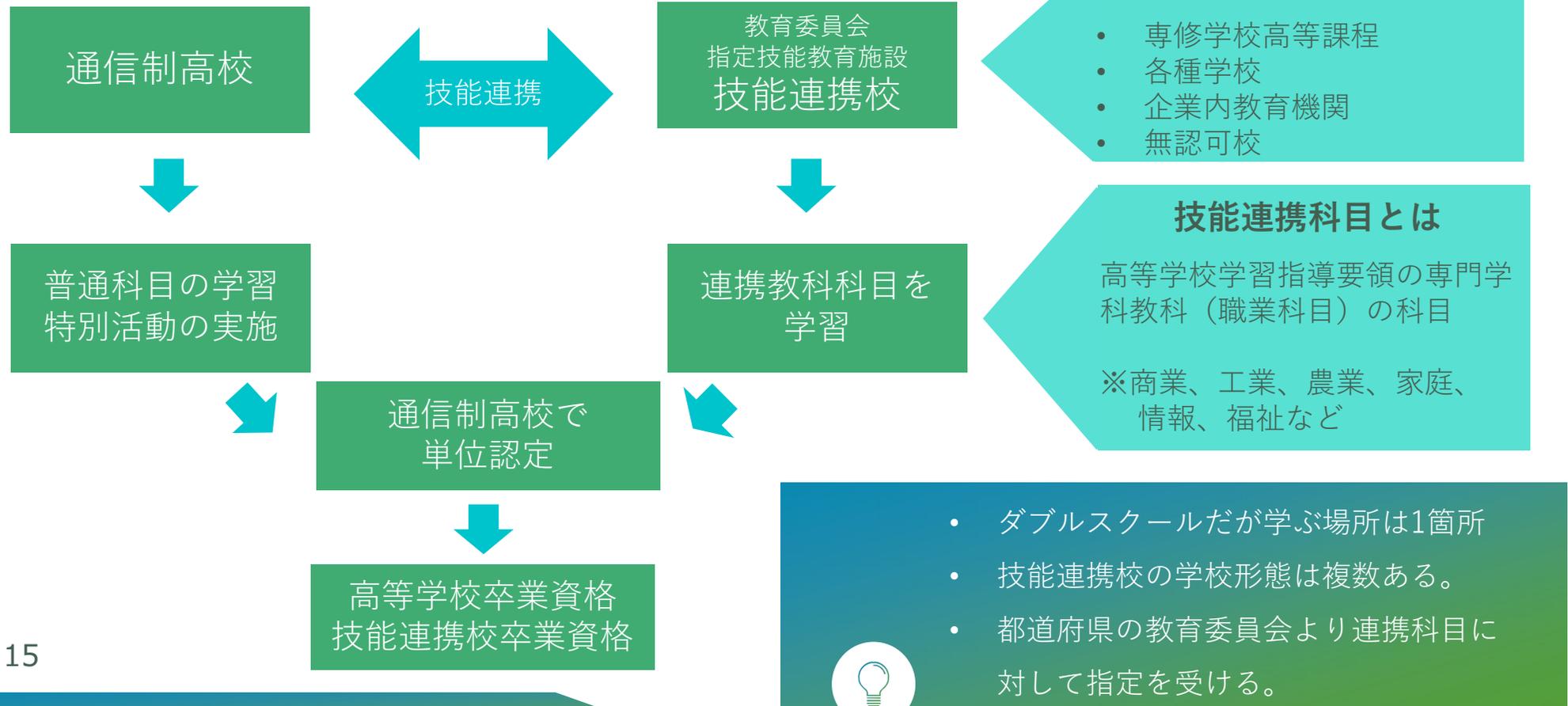


サポート校単独では高校卒業資格は得られない。

# 技能連携制度のしくみ

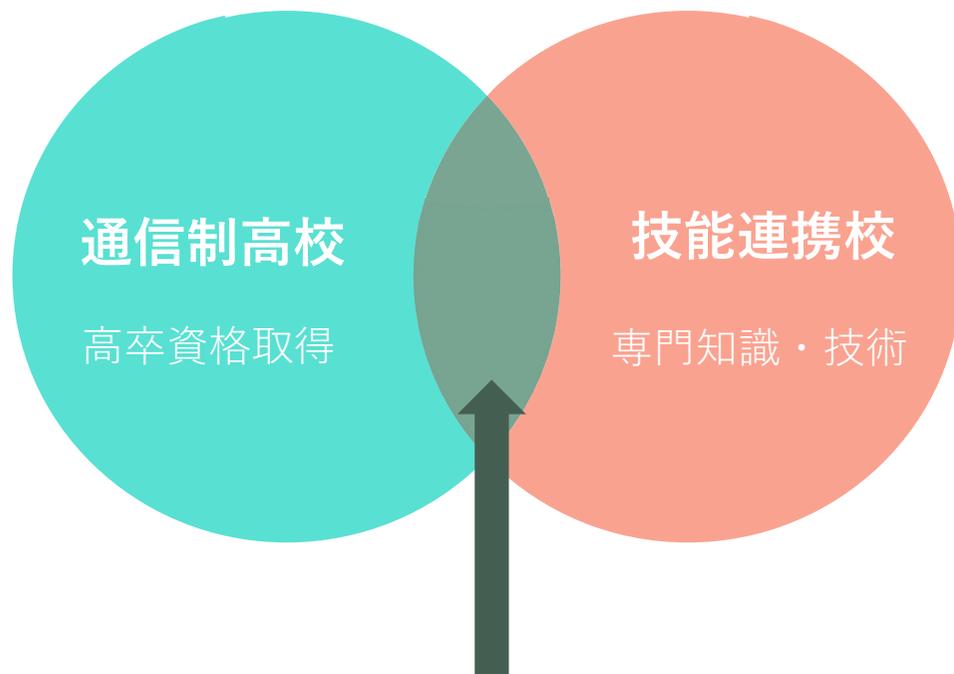
都道府県教育委員会が指定する技能教育施設と通信制高校が連携し、高校の授業の一部として技能教育を実施。専門学校などでの学びを通じて、

高校卒業資格と技能修了資格の両方を同時に取得できます。



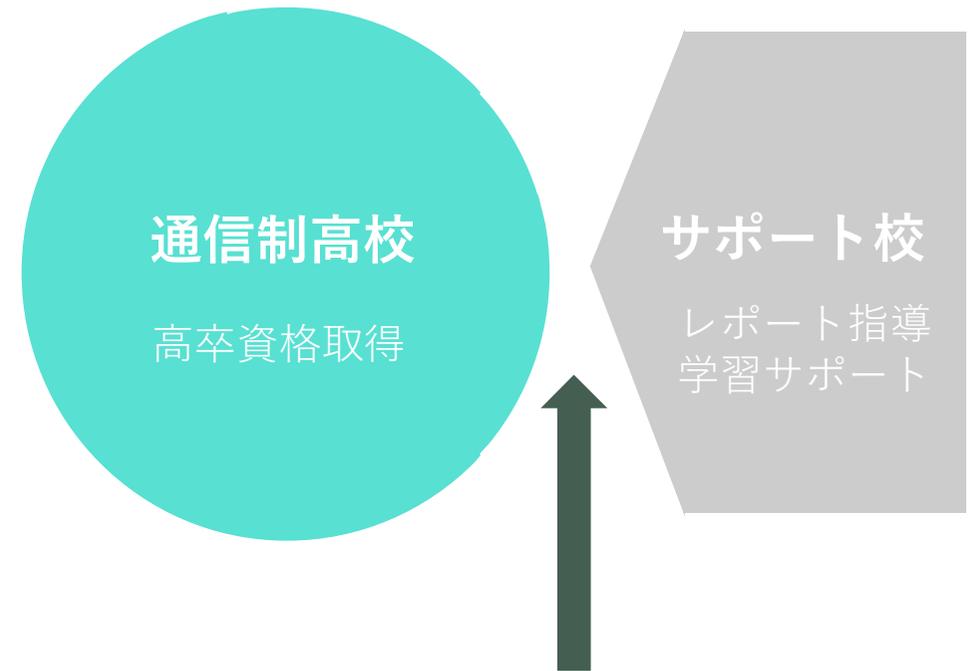
# 技能連携校とサポート校の違い

技能連携校の場合



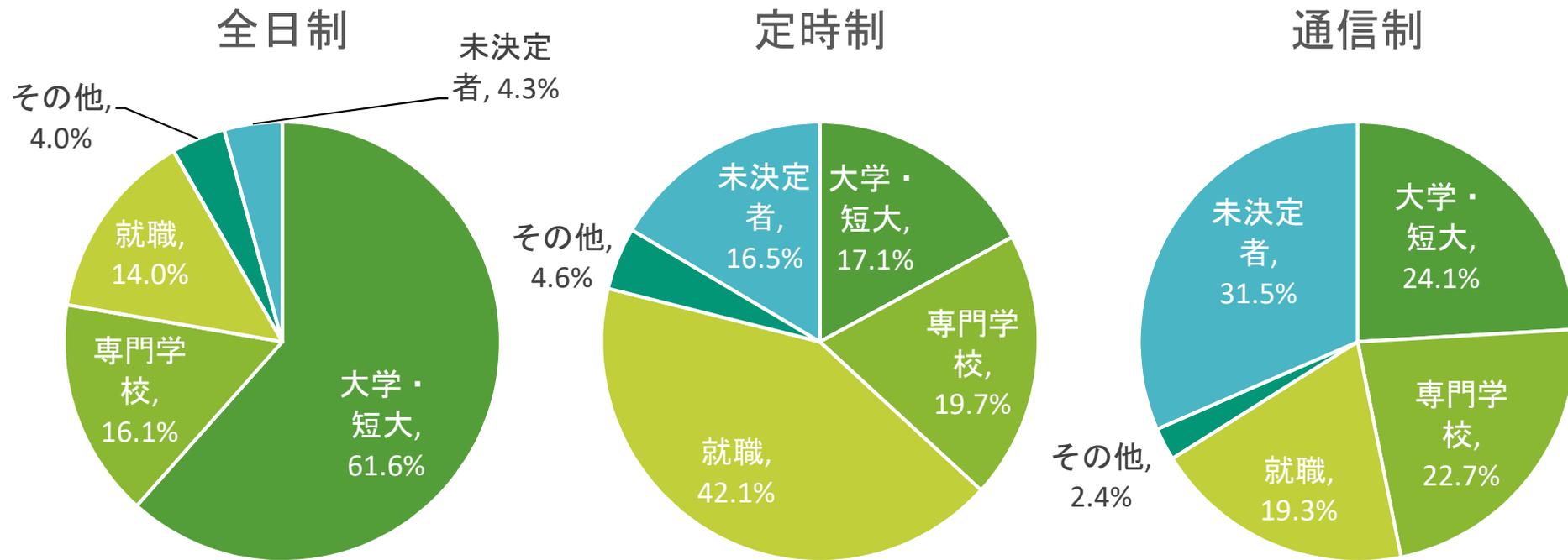
技能連携校の学習の一部が通信制高校の卒業単位として認定される。

サポート校の場合



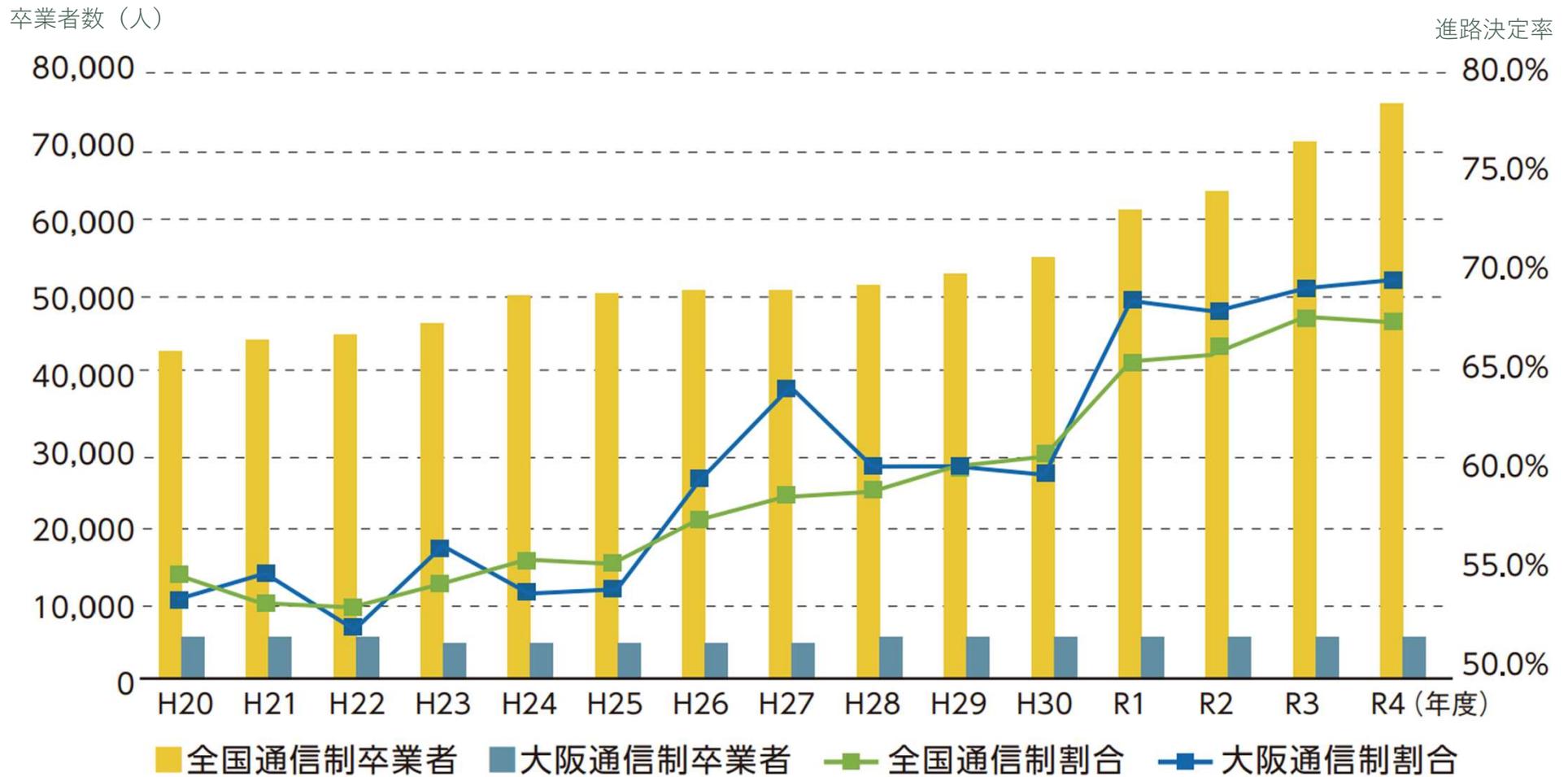
通信制高校の卒業単位としては認められない。

# 高等学校の進路の現状（課程別比較）



(参考) 文部科学省「学校基本調査」令和4年度

# 通信制高校の進路決定状況



(出典) 文部科学省「学校基本調査」

# 通信制高校の進路指導の現状と課題

## 一般的な通信制高校の進路指導のイメージ

通信制高校から  
進学や就職ができるのか

進学や就職の受験の際に  
不利にならないか

通信制高校はそもそも  
進路指導をしているのか

進学や就職はもちろん可能。  
通信制高校の卒業資格だからと受験の際に不利になることはない。

## 通信制高校の進路指導の課題

1. 学力や進路希望の幅が大きいため個別進路指導の強化が求められる。
2. 進路希望を持つことの動機付けができる体験や学習が必要。
3. 自己肯定感の向上を含むメンタルヘルスサポート



大阪私立中学校高等学校連合会  
大阪通信制高校グループ

# 高等学校等就学支援金の支給額

全国のすべての高校生を対象に、「就学支援金」という制度があります。  
(就学支援金は1単位あたりの金額で支給されます。)

モデル世帯 の年収めやす	課税標準額×6% －調整控除額	全日制高校 専修学校高等課程等	通信制高校 (単位あたり授業料)	通信制高校 (定額授業料)
590万円未満	154,500円未満	月額33,000円 (年額396,000円)	1単位あたり 12,030円	月額24,750円 (年額297,000円)
910万円未満	304,200円未満	月額9,900円 (年額118,800円)	1単位あたり 4,812円	月額9,900円 (年額118,800円)
910万円以上	304,200円以上	対象外	対象外	対象外

※支援金は生徒や保護者に直接支給されるのではなく、学校を通じて授業料に充てられます。

# 大阪府授業料支援補助金

大阪府在住の高校生を対象に、「大阪府授業料支援補助金」という制度があります。

授業料	年収（めやす）別の保護者負担額		
	590万円未満	590～910万円	910万円以上
1単位あたり12,030円まで	無償		
1単位あたり12,030円超過分	無償（※）	1単位あたり (授業料－12,030円) を保護者が負担	

※授業料額が標準授業料12,030円/単位を超える部分については  
令和7年度は保護者負担、令和8年度以降は学校負担となります。

**1** 大阪通信制高校グループとは

---

**2** 通信制高校の基本知識

---

**3** 数字で見る通信制高校

---

**4** 大阪の通信制高校の現状

---

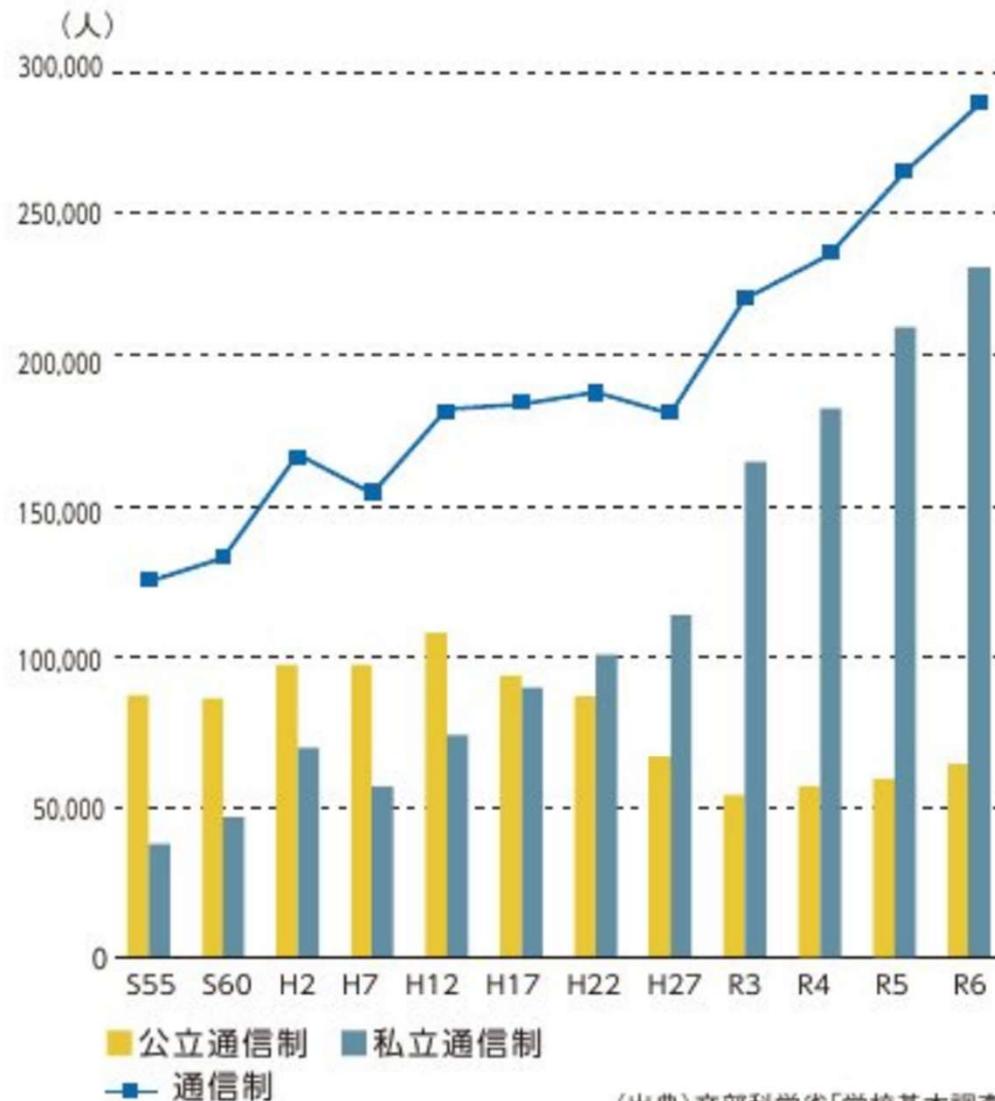
**5** 今後の通信制高校教育

---

# 高等学校の生徒数（公私別推移）

	全日制定時制	通信制		
		公立	私立	計
S55	4,621,930	87,104	37,766	124,870
S60	5,177,681	86,282	46,362	132,644
H2	5,623,336	97,271	69,715	166,986
H7	4,724,945	97,330	56,653	153,983
H12	4,165,434	107,854	74,023	181,877
H17	3,605,242	93,770	89,748	183,518
H22	3,368,693	86,843	100,695	187,538
H27	3,319,114	66,702	113,691	180,393
R3	3,008,182	53,880	164,548	218,428
R4	2,956,900	54,621	183,646	238,267
R5	2,918,501	57,437	207,537	264,974
R6	2,906,921	60,333	229,754	290,087

(人)



(※1) 全日制定時制課程の生徒数には、専攻科・別科に属する生徒数を含む。

(※2) 通信制課程の生徒数には、他からの併修者の数は含まれていない。

(出典) 文部科学省「学校基本調査」



大阪私立中学校高等学校連合会  
大阪通信制高校グループ

# 高校生に占める通信制生徒割合（公私）

区分	2022年度		2023年度		2024年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
全日制	2,885,078	90.3%	2,847,948	89.5%	2,834,574	88.7%
定時制	71,822	2.2%	70,553	2.2%	72,347	2.3%
通信制	238,267	7.5%	264,974	8.3%	290,087	9.1%
合計	3,195,167	100.0%	3,183,475	100.0%	3,197,008	100.0%
通信制の割合	<b>13.4人に1人</b>		<b>12.0人に1人</b>		<b>11.0人に1人</b>	

（出典）文部科学省「学校基本調査」

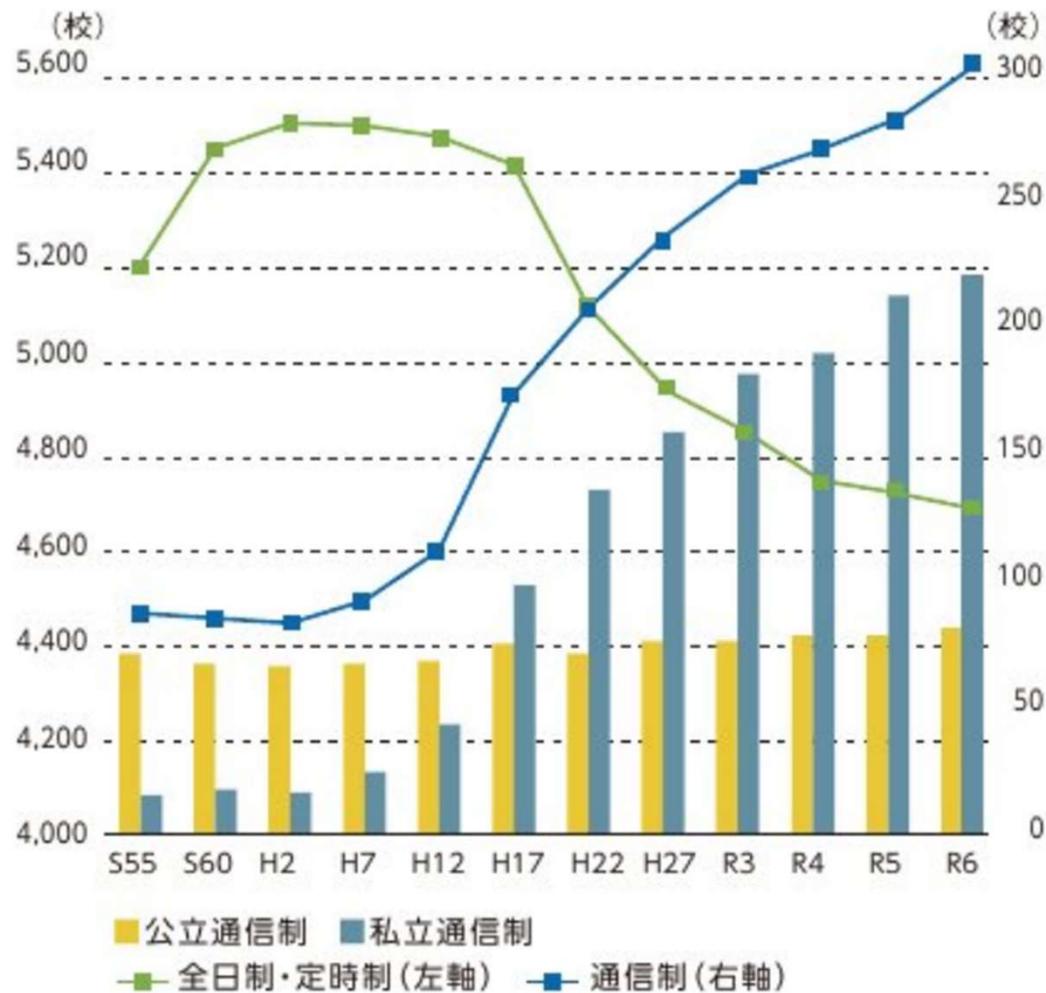
# ——私立高校生に占める通信制生徒割合（公私）

区分	2022年度		2023年度		2024年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
全日制	1,009,449	84.4%	1,005,313	82.7%	1,005,545	81.2%
定時制	2,346	0.2%	2,237	0.2%	2,320	0.2%
通信制	183,693	15.4%	207,542	17.1%	229,754	18.6%
合計	1,195,488	100.0%	1,215,092	100.0%	1,237,619	100.0%
通信制の割合	<b>6.5人に1人</b>		<b>5.9人に1人</b>		<b>5.4人に1人</b>	

（出典）文部科学省「学校基本調査」

# 高等学校の学校数 (公私別推移)

	全日制定時制	通信制		
		公立	私立	計
S55	5,208	72	16	88
S60	5,453	68	18	86
H2	5,506	67	17	84
H7	5,501	68	25	93
H12	5,478	69	44	113
H17	5,418	76	99	175
H22	5,116	72	137	209
H27	4,939	77	160	237
R3	4,857	77	183	260
R4	4,824	78	196	274
R5	4,791	78	211	289
R6	4,774	79	224	303



**1** 大阪通信制高校グループとは

---

**2** 通信制高校の基本知識

---

**3** 数字で見る通信制高校

---

**4** 大阪の通信制高校の現状

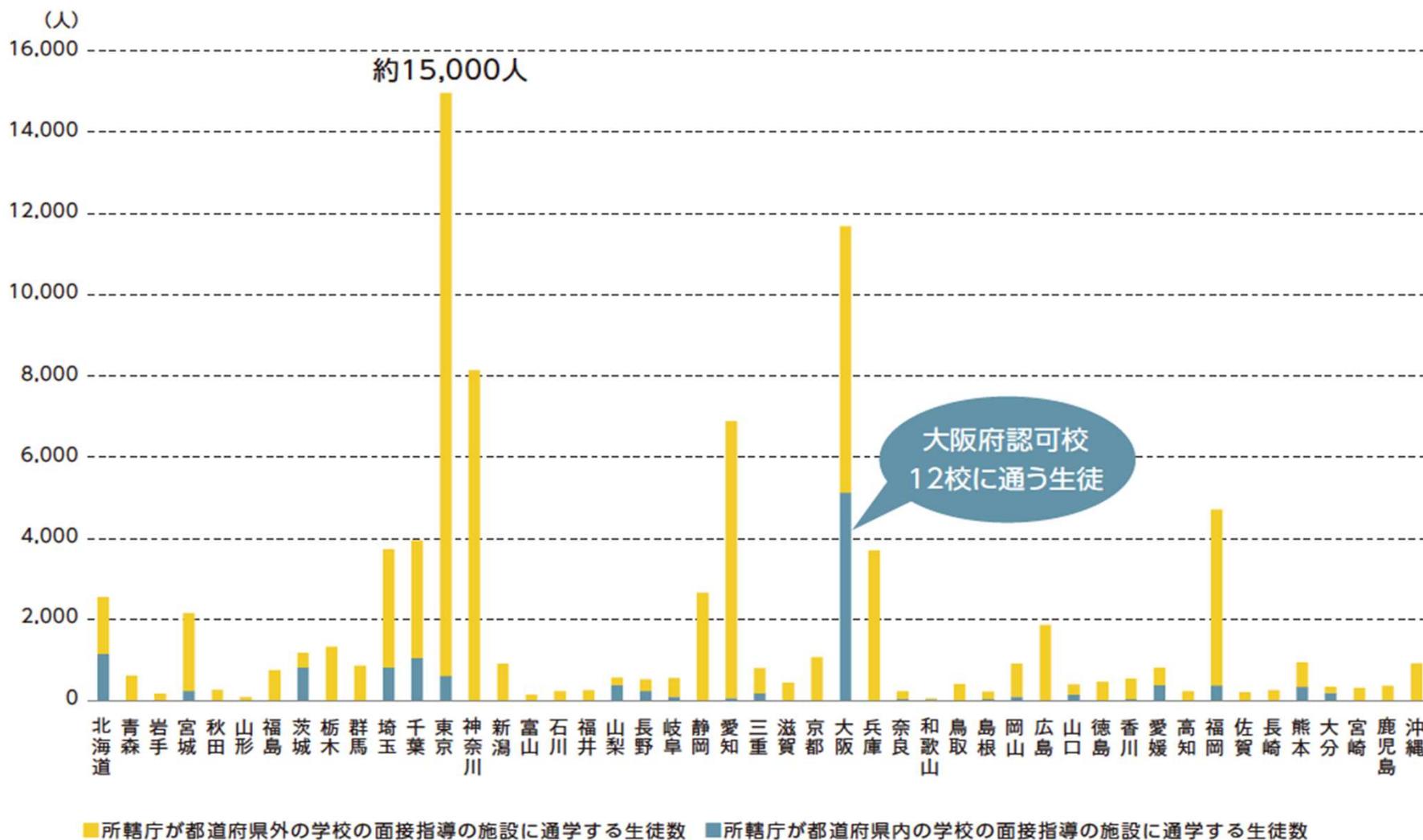
---

**5** 今後の通信制高校教育

---



# 広域制通信制高校が大都市圏に集中する現状



(出典) 文部科学省「広域通信制高等学校の展開するサテライト施設一覧」(令和元年5月1日現在)より作成

# 大阪府下の通信制高校の運営状況



<参考資料>

NPO法人 全国私立通信制高等学校プラットフォーム  
2024年度全国連携協力施設数調べ



大阪府通信制高校グループ12校  
大阪府認可学校法人立の通信制高校



大阪府公立通信制高校 1校  
大阪市株式会社立通信制高校 1校



他府県認可通信制高校のサテライト施設



技能連携校

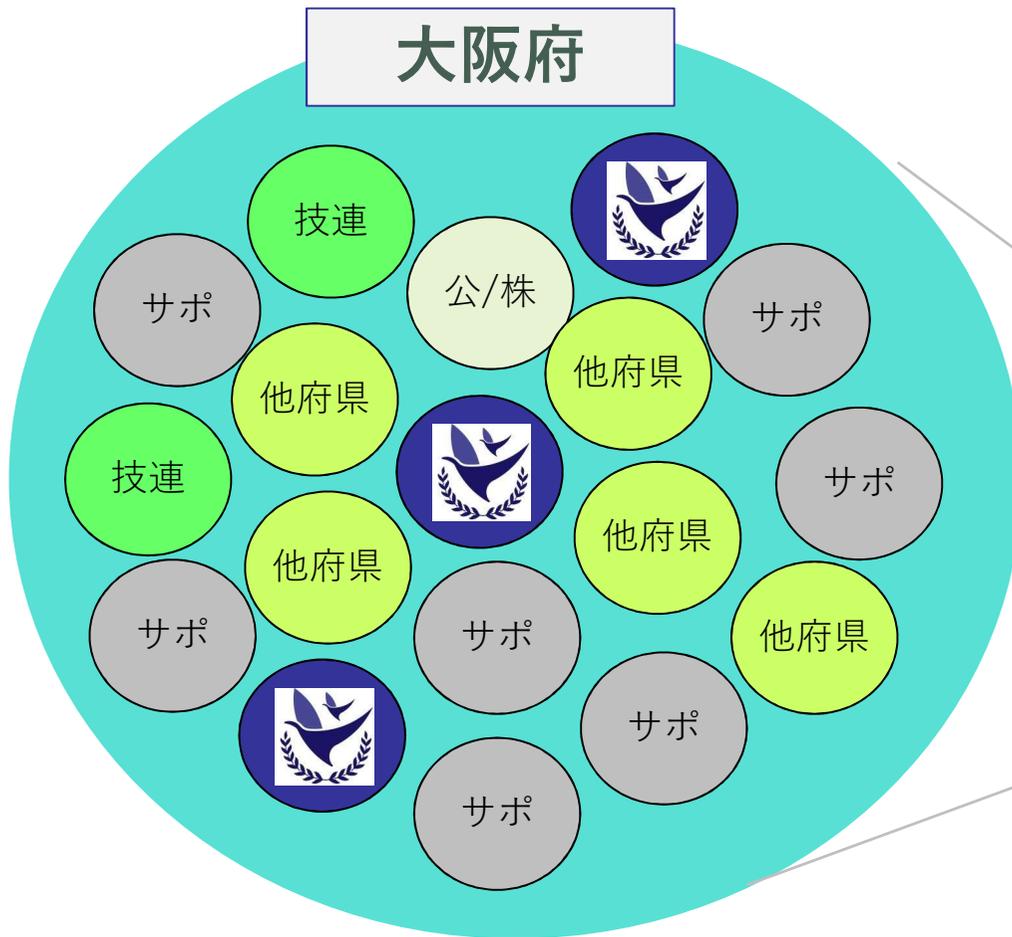


サポート校



大阪府下には、「通信制高校」と名のつく教育施設が多数あり、令和6年の調査においては、大阪府下に約280施設の通信制高校があることが分かっています。

# —大阪府下の通信制高校の運営状況



各学校がどのような仕組みなのか」を外部から正確に把握するのは、非常に難しい・・・



 その学校がどんな特色を持ち、どのような学びのスタイルを提供しているのかを、生徒本人がしっかりと理解したうえで選ぶことが大切

1 大阪通信制高校グループとは

---

2 通信制高校の基本知識

---

3 数字で見る通信制高校

---

4 大阪の通信制高校の現状

---

5 今後の通信制高校教育

---

# —— 今後求められる通信制高校の在り方

※ 高等学校教育の在り方ワーキンググループ 中間まとめ（令和5年8月）より要約



## 多様な生徒の在籍

通信制課程には、勤労青年だけでなく、多様な課題を抱える生徒が多く在籍している現状がある。



## 質の確保・向上

一部に違法・不適切な学校運営や教育活動が指摘されているため、通信制高校の質の確保・向上が必要である。



## セーフティネットとしての役割

不登校経験者や特別な支援が必要な生徒に対して手厚い支援を行う学校もあり、多様な生徒の学びに対するセーフティネットとなっている。



## 公立通信制高校の強化

私立通信制高校の生徒数が増加している一方で、公立通信制高校の生徒数は減少傾向にあり、魅力向上・機能強化が必要である。



## 人間関係の構築

登校回数が少ない中で、人間関係を築き、自分の良さや可能性を認識し、多様な人々と協働する機会を充実させることが求められる。



## 情報発信と実態調査

国などが通信制課程の制度や特徴を分かりやすく情報発信し、不登校経験者が高等学校進学後の見通しを持てるよう継続的な実態調査を行うことが重要である。



## 支援体制の整備

生徒が自立した学習者として社会で生きるための資質・能力を身につけられるよう、必要な支援体制を整えることが重要。



高等学校教育の在り方  
ワーキンググループ  
中間まとめ（本文）



生徒を主語にした  
高等学校教育の実現  
に向けた取組

# 通信制高校へのニーズの変化と期待される学習形態

## 過去の主なニーズ

- 働きながら学びたい
- 登校日数を少なくしたい
- 学習負担を軽減したい
- 短期間で卒業したい



## 現在の主なニーズ

- 沢山学校へ通いたい
- 自分のペースで学習したい
- ゆっくりと人間関係を築きたい
- 基礎学力から身につけたい
- 専門的な学習をしたい
- 確実に自分の進路を決定したい

## 期待される学びの形態



# 2025年度大阪通信制高校グループ合同相談会

大阪府認可 大阪通信制高校グループ

対象 保護者・生徒の方

## 夏の合同相談会

日時 2025年 8月1日(金) 10時～16時

場所 天満橋OMMビル2階  
〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-7-31

参加 **無料** 予約不要

大阪府認可私立通信制高校12校が一同に会し、合同の相談会を実施します。各校入試担当者からの説明を受けていただける貴重な機会です。是非ご参加ください。

主催/大阪通信制高校グループ

**Schedule**

10時～16時 各校個別相談ブース  
※お気軽にご相談ください。

13時30分～ 通信制高校の説明・各校学校紹介・生徒インタビュー

※当日の状況によって、内容や時間が変更になることがあります。



大阪府認可 大阪通信制高校グループ

2025年度 通信制高校

# 秋の合同相談会

10/19日  
10:00 - 16:00

HPはこちら 



場所 天満橋OMMビル2F  
[F・F2・E・E2]

内容

- 10:30～通信制高校の説明
- 11:00～各学校紹介
- 12:00～生徒インタビュー
- 13:00～通信制高校の説明
- 13:30～各学校紹介
- 14:30～生徒インタビュー

※当日の状況によって、内容や時間が変更になることがあります。